

銀杏の生産と流通（I）

— 福岡県内の現状 —

九州大学農学部 青木 尊重
 福岡県林業試験場 中島 康博
 福岡県甘木農林事務所 野口 良人

1. はじめに

福岡県で実施した表式調査法による昭和58年度の銀杏の栽培面積は36.5ha（園地型では成園6.0ha+未成園13.7ha=19.7ha・散在型では成園11.7ha+未成園5.1ha=16.8ha）で、生産量は73.7ton、栽培農家数は約550戸（そのうち園地型栽培戸数は102戸）、販売量は63.8ton（県内23.5ton+県外40.3ton）で生食用主体となっている。採用している主要な品種は：久寿で、主要産地は朝倉郡把木町一帯で、その他では飯塚市などがある。

上記の把木町の一部には、300年生以上といわれている古木が約150本ほど集団的に林立している集落もあり、370名ほどの方が“研究会”を組織し、銀杏栽培に30年余りの経験をもつI氏を中心に、①品種問題、②栽培技術、③病害虫対策、④流通問題、⑤生産者の組織化等に取組んでいる。

2. 銀杏の出荷規格と品種の特性と市場の傾向

出荷規格については、表-1に示すとおりである。ただし、消費地や消費者層などによって好みが異なる。おおむね、新実（当年産）の大粒は高値で、古実（越年もの）の小粒は安値である。出荷者側は、500~1.000gを単位とし、新実は15kgの箱詰と20kgの網袋詰（15kg詰・20kg詰）にしている場合が多い。なお、古木の銀杏は、小玉・長玉が多く、栽培品種の久寿・嶺南などは大玉が多くかつ早生で豊産型で、豊凶の差が少ないという。

品種の特性については、表-2に示すとおりである。福岡県下では、久寿が主として採用されている。

昭和56年度における①大阪市場・②福岡市場における県別入荷量と単価を示すと、表-3・4のとおりであった。すなわち、①大阪市場では九州産が76%を占めており、②福岡大同青果では福岡県産が82%，熊本県産が12%を占めていた。なお、福岡県産の価格は、平均値よりもやや低目である。

出荷者は、①農協渡しと②庭先売りと③青果市場や卸売問屋へ送りつける場合とが主流となっている。

3. 銀杏の栽培体系

銀杏の園地型の栽培体系としては、表-5に示すとおりの栽培歴を、一応の規準においている。

なお、成園の施肥設計の規準的なものを示せば、表-6のとおりである。施肥を多くすれば、害虫の被害が多くなるため、ひかえめな施肥がよいといわれている。

栽培者の意向や園地の地形によって、①高接による盆状形仕立てと②低接による変則主幹形仕立てとがある。①は把木町のI氏を中心とする集団で、②は飯塚市の中氏を中心とする集団によって実行されている。両者の得失については、今後の課題である。

4. 病害虫問題

銀杏の栽培上、常時、問題となるものに、各種の害虫に対する防除対策があげられている。現在のところ①ニセビロウドカミキリ、②チャイロヒゲビロウドカミキリ、③ゴマダラカミキリ、④コウモリガ、⑤クスサン等に対する処法箇について、表-7に示すようなることで対応している。

本問題については、先述のI氏の園地の一部を借用して、福岡県林業試験場の大長光らによって、固定試験地を設定し、防除法についての試験・研究を昭和59年度から開始している。

病害については、①コスチュウム菌によるミカンの赤衣病（？）、②綿糸病、③ベスタロチャ病、④ムラサキモンパ病などがあげられている。

5. 今後の課題

わが国の銀杏の産地を市場別にみてみると、首都圏では埼玉県（主として秩父地方）が主産地であり、中京圏では愛知県と岐阜県（主として濃尾平野）が金兵衛・久寿・藤九郎などの優良品種による産地である。阪神市場では近郊にまとまった産地がなく、熊本・福岡・大分の3県が全入荷量の70~80%を占めている。福岡市場と北九州市場では地元の福岡県産が最も多く、熊本県産と大分県産がこれについでいる。

各市場別の年次別の価格は、年によって若干の高低

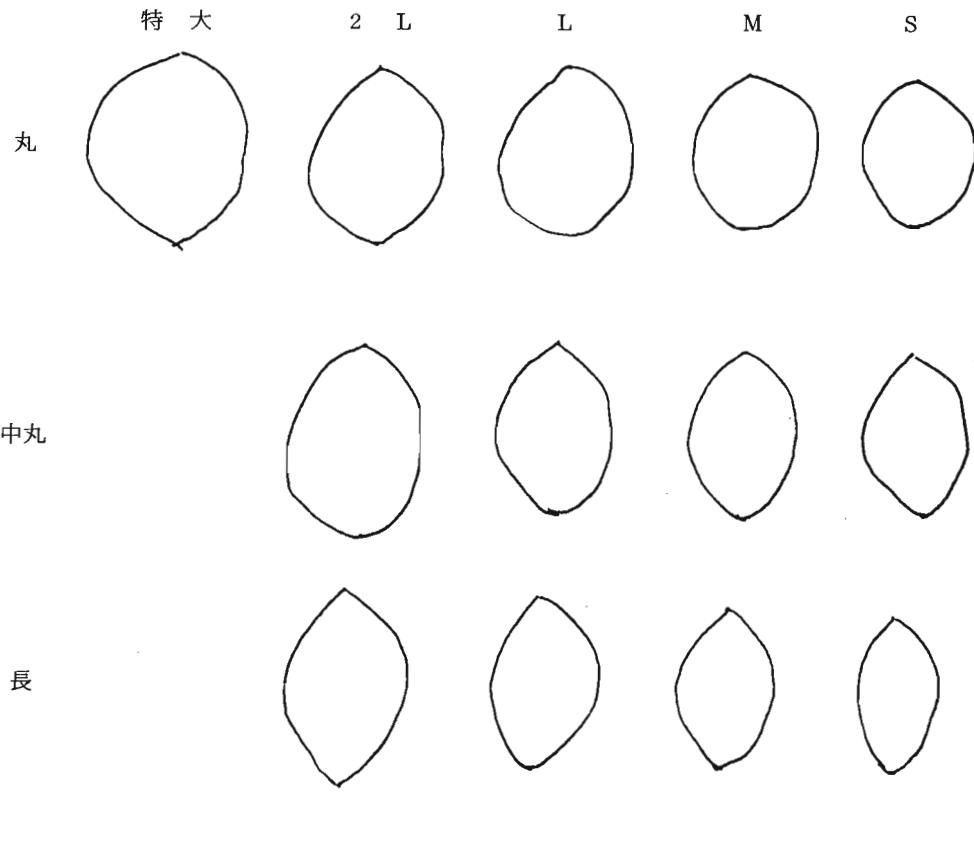
はあるが、年々高値となっており、銀杏の需要が増加しつつあるもののように判断される。

現在の価格は、生産量の増加と中国・台湾・韓国等からの輸入によって、長期間維持することは困難であろう。ただし、優良品は、常に、その時点時点での最

高値で取引され、不良品は漸次駆逐されよう。

よって、銀杏の栽培は、主産地形成を目指して、優良品種の計画的集約的栽培を心がけ、市場価格を維持し、経済性の向上をはかるべく努力して欲しいものである。

(1) 選別基準(実物大)



等級 丸・中丸・長の3等級とする。

階級 特大・2L・L・M・Sの5等級とする

調整 ①良く洗い、乾燥を十分に行うこと

②水に浮く軽い物は除去する

③病害虫果及びカビ果は除く

図-1 ぎんなん出荷規格表

表-2 品種の特性

品種	熟期	特 性	
金兵衛	極早生	7月～8月 3.5g (平均) 果形は中で樹姿は直立	28mm×18mm×15mm
久寿	早生	8月～9月 5.0g (平均) 果形は大で開張性で豊産型	24mm×20mm×15mm
おたふく	中生	果形は特大でやや開張で貯藏性あり	
長瀬	晩生	9月～10月上旬 果形は小でやや開張性	3.0g
藤九郎	晩生	果形は特大でやや開張で(久寿よりやや小さい) 貯藏性あり 9月下旬～10月	
嶺南	早中生	久寿の枝変わり	
栄信	早生	金兵衛に似ている	

表-3 大阪市場における県別入荷量と単価
(昭56)

県別	入荷量 kg	比 率 %	単価 円/kg
埼玉	15		1,400
千葉	571	0.5	1,513
新潟	2,773	2.2	1,310
富山	1,275	1.0	637
石川	459	0.4	868
福井	11,299	9.0	1,009
長野	180	0.1	595
岐阜	1,671	1.3	1,551
愛知	389	0.3	1,447
三重	20		1,000
京都	544	0.4	1,100
大阪	2,176	1.7	613
兵庫	3,787	3.0	907
奈良	14		1,180
和歌山	161	0.1	694
鳥取	109	0.1	1,239
島根	1,504	1.2	965
岡山	1,062	0.8	919
山口	60	0.1	720
徳島	121	0.1	543
愛媛	243	0.2	830
福岡	30,889	24.6	1,064
熊本	31,602	25.2	1,302
大分	34,566	27.5	1,225
合計	125,490	100.0	1,157

表-4 福岡大同青果市場における県別入荷量と単価

(昭56)

	入荷量 kg	比 率 %	単価 円/kg
福岡	24,979	82.0	1,093
佐賀	259	0.8	1,330
熊本	3,786	12.0	1,312
大分	1,496	5.0	1,408
鹿児島	22	0.1	1,590
全国	18	0.1	1,374
台湾	25	0.1	1,300
合計	30,585	100.0	1,138

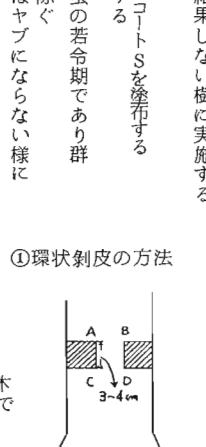
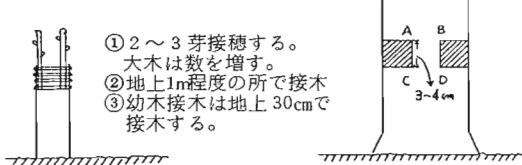
表-6 施肥設計(成園)

肥料名	元肥 (2～3月)	7月上旬 玉肥	10月下旬 礼肥	5年目までは元肥を1俵 (組合化成48)
たいひ	300 kg			
ようりん	50 kg			
配合肥料	50 kg			
組合化成88		20 kg		
組合化成88			20 kg	※5～10年目までは元肥(30kg)追肥

表-7 病害虫防除

病害虫名	農薬名	備考
クスサン	デイプテレックス 粉剤 スミチオン	5月上旬、9月散布 補殺(手で取り除く) 10月末までに切り取り焼却する
天牛	ダーズパン(100倍) サッチュコートS	5月～6月中旬頃散布する
ナガタマムシ	スミチオン水和剤	5月中旬～6月上旬に散布する
コウモリガ	スミチオン水和剤10	6月～7月 敷布
ピロウドカミキリ	ダーズパン(100倍) サッチュコートS 50 トラサイド(500倍)	7月～9月 敷布

表-5 ぎんなん栽培暦

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状態	休眠期 萌芽期 開花期 花芽分化期 枝梢伸長期 収穫期 落葉期 休眠期											
主要作業	灌水	接木	草刈り	害虫防除	玉虫剝皮	環状剥皮	収穫	施肥	礼賀	植付準備	定植	元肥
* 植付けの選定	* 植付け地の条件 ①肥沃地 ②常に乾燥に注意し、旱天の場合は硝酸態チップ（3%液）を灌水する ③乾燥防止の為、雨の場合はマルチングを取り再度マルチングする ④水田、畑に植付ける場合は、農業委員会及び隣地主との協議	* 時期は桜の満開の時期で、曇天、無風時	* 植付け二～三年後で接木する	①草刈りは常に行い、特に樹幹（地際）はヤブにならない様に	②永年樹は一五年頃とし、樹勢が強く、結果しない樹に実施する ③ナガタマムシは樹勢の弱った枝にサッチャードコートSを塗布する ④生地中下旬にスマッシュ粉剤を散布する ⑤アゲハチョウの幼虫の若令期であり群衆で捕獲する	①果樹貯藏性のあるもので、石炭灰使用又はむしで発熱が表面に現れる ②果樹は直接収穫性と、条件は丸く自然落とがある ③乾燥（天日乾燥）を取らぬ様に、石炭灰使用又はむしで発熱が表面に現れる ④手で実で直接収穫性と、条件は丸く自然落とがある ⑤冬期には栽培マットを用いて栽培する	①(クスサン)ディープテレックス粉剤 (ナガタマムシ)スマッシュ水和剤 (天牛)カミキリムシ（幼虫） ○スマッシュダースパン（100倍） ○サッチャードコートS	①(クスサン)ディープテレックス粉剤 (カミキリムシ)スマッシュ水和剤10倍液 ○ダースパン（100倍） ○トラサイド（500倍）	①(クスサン)ディープテレックス粉剤 (ビロウドカミキリ) ○ダースパン（100倍） ○サッチャードコートS 50 ○トラサイド（500倍）	①(クスサン)ヨーリン1kg ②モリガ2kg ③アブル50本 ④土石灰250kgとする ⑤D.M.ヨーリン1kg ⑥モリガ2kg	①(クスサン)モリガ2kg ②モリガ2kg ③モリガ2kg ④モリガ2kg ⑤モリガ2kg ⑥モリガ2kg	①(クスサン)モリガ2kg ②モリガ2kg ③モリガ2kg ④モリガ2kg ⑤モリガ2kg ⑥モリガ2kg
作業内容及び注意事項	 <p>①環状剥皮の方法</p> <p>①2～3芽接木する。 大木は数を増す。 ②地上1m程度の所で接木 ③幼木接木は地上30cmで接木する。</p> 											
防除剤	